

様式1-3 (統一栽培暦様式)

# もっと安心農産物 枝豆 栽培暦 令和6年

J A ちば東葛

旭出荷組合

1. 土づくり

完熟堆肥を施用する (前作物で施用する)
----------------------

2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守

	肥料名	施肥量	
基肥	枝豆君505 (5-10-5)	120Kg / 10a 以下	
	または		
	落花生化成 (5-15-20)	50Kg / 10a 以下	
追肥			

2. 防除

春蒔き

月	管理作業	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考(耕種的防除の実施等)	
2月上旬	播種	トレボン乳剤	1,000倍 (14日前・2回)	カメムシ類 マメシクガ	センチウ発生の場合は、前作ホウレンソウ作付け前に土壌消毒を実施する	
中旬		↓	トレボンMC	1,000倍 (14日前・2回)		カメムシ類 マメシクガ
下旬			アグロスリン乳剤	2,000倍 (7日前・3回)		カメムシ類 マメシクガ
3月上旬	定植	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍 (7日前・2回)	カメムシ類	害虫防除のため、圃場周辺の雑草を除去する	
中旬		↓	ダニトロンフロアブル	1,000倍 (7日前・1回)		ハダニ類 チャノコリダニ
下旬			ダントツ水溶剤	2,000倍 (前日・3回)		カメムシ類 アブラムシ
4月上旬	収穫	アフアーム乳剤	2,000倍 (3日前・2回)	ハスモンヨトウ	ハウス・トンネルについては農薬使用回数3回、マルチについては、4回を基準とする	
中旬			フェニックス顆粒水和剤	2,000倍 (前日・3回)		ハスモンヨトウ
下旬			アドマイヤー1粒剤	3kg / 10a		アブラムシ類

5月上旬	↓	ダイアジノン粒剤 5	4 k g /10a	ネリムシ類	
中旬		プレバツフロアブル 5	4,000 倍 (3 日前・3 回)	ハスモンヨトウ マメシクイガ	
下旬		ランマンフロアブル	1,000 倍 (3 日前・3 回)	バト	
6月上旬		トレファサイト粒剤 2.5	4kg/10a	一年生雑草	
中旬		ディアナ SC	2500～5000 倍 (前日・2 回)	アザミウマ類	
下旬		ブロフレア SC	2000～4000 倍 (前日・3 回)	ハスモンヨトウ	

### 秋蒔き

月	管理作業	薬剤名	希釈倍数 ・処理量	対象病害虫	備考(耕種的防除の実施等)	
8月上旬	播種	トレボン乳剤	1,000 倍 (14 日前・2 回)	カメムシ類 マメシクイガ	害虫防除のため、圃場周辺の雑草を除去する	
中旬	定植	トレボンMC	1,000 倍 (14 日前・2 回)	カメムシ類 マメシクイガ		
下旬	↓	アグロスリン乳剤	2,000 倍 (7 日前・3 回)	カメムシ類 マメシクイガ		
9月上旬	↓	スタークル顆粒水溶剤	2,000 倍 (7 日前・2 回)	カメムシ類	ハウス・トンネルについては農薬使用回数3回、マルチについては4回を基準とする。	
中旬		ダニトロンフロアブル	1,000 倍 (7 日前・1 回)	ハダニ類 チャノホリダニ		
下旬		ダントツ水溶剤	2,000 倍 (前日・3 回)	カメムシ類 アブラムシ		
10月上旬		収穫	アフファーム乳剤	2,000 倍 (3 日前・2 回)	ハスモンヨトウ	
中旬		↓	フェニックス顆粒水和剤	2,000 倍 (前日・3 回)	ハスモンヨトウ	
下旬			アドマイヤー1粒剤	3 k g /10a	アブラムシ類	
11月上旬	↓	ダイアジノン粒剤 5	4 k g /10a	ネリムシ類		
中旬		プレバツフロアブル 5	4,000 倍 (3 日前・3 回)	ハスモンヨトウ マメシクイガ		
下旬		ランマンフロアブル	1,000 倍 (3 日前・3 回)	バト		
		トレファサイト粒剤 2.5	4kg/10a	一年生雑草		
		ディアナ SC	2500～5000 倍 (前日・2 回)	アザミウマ類		
		ブロフレア SC	2000～4000 倍 (前日・3 回)	ハスモンヨトウ		

☆みんなで守ろう生産基準